

みどりの子 明るく やさしく 根気よく



緑が丘だより 第9号

令和8年1月

宇都宮市立緑が丘小学校

皆川 美弥子



成長の1年になりますように



令和8年の学校生活が始動しました。今のところ、インフルエンザなど感染症の蔓延はなく、寒さに負けず、校庭で元気になわとびやボール遊びをする姿が見られます。

冬休み明けの朝会では、校長から「午年とはいえ、うまくいくことばかりとは限らない。うまくいかないことでもあきらめずに挑戦してほしい」という話をしました。緑が丘小学校の全児童にとって、充実した成長の1年になることを切に願い、全教職員で取り組んでまいります。本年もご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

保健室が一新しました！

今年度、養護教諭が保健室の環境改善に取り組みました。「明るく、きれい、元気が出る保健室」を目指して物品の整理等を行い、明るくて広い環境が実現しました。緊急時の対応や救急処置などが大変行いやすくなるとともに、身体計測なども保健室で安心して実施できるようになりました。改善後の児童アンケートでは、「安心する」「落ち着く」「ほっとする」などの高評価が得られました。

また、保健室を利用した児童について、養護教諭と担任、保護者の連絡カードを作成し、連携漏れを防ぐことができました。



体罰のない
明るく風通しのよい学校を目指して
～相談を受け付けます～

体罰は児童の身体や心を傷つける人権侵害行為であるとの考えのもと、市と学校が一体となり体罰根絶の取組を進めています。その一環として、不適切な指導についての相談の機会を設けております。

本校の実施日は以下の2日間です。お電話をいただくか、直接職員室にお越しください。窓口は校長、副校長です。

相談日時 2月12日(木) 9:00～12:00
13日(金) 9:00～12:00

☎(緑が丘小) 658-2600

※学校に直接話しにくい場合などは、市教委の相談窓口(随時)をご利用ください。

学校教育課

学校いきいきグループ 632-2727

教職員グループ 632-2726

学校評価へのご回答 ありがとうございます

学校評価(うつのみや学校マネジメントシステム)の集計結果が学校に届きました。

保護者の皆様から特に高い評価をいただいた項目は、

- 児童は思いやりの心をもっている
- 児童は時と場に応じたあいさつをしている
- 学校は利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている などです。

「あいさつ」については、市の平均を大きく上回っており、本校が力を入れてきたことの成果を感じ、ありがたく存じます。

反面、厳しい評価をいただいたのは、

- △児童は目標に向かってあきらめずに粘り強く取り組んでいる
- △児童はデジタル機器や図書等を学習に活用している
- △教職員はいじめが許されない行為であることを指導している です。

「デジタル機器等の活用」については、児童と教職員の回答は市の平均を上回っているため、保護者の皆様にご理解いただけるよう、今後、積極的に情報発信してまいります。また「いじめ」についても、児童と教職員の回答は市の平均を上回っておりますが、保護者の皆様の中には、不安を抱えている方がいらっしゃるようになりました。今後も、いじめの防止と早期発見に向けて取り組むとともに、保護者の皆様の信頼を得ることができるよう、努めてまいります。

自由記述欄にもご意見をいただきましてありがとうございました。複数の方から挙げられたご意見に対する学校としての考えは以下の通りです。

【宿題について】

自主学习カードが重荷、長期休みにプリント教材を用意してほしい、など

→ 学習の実態は、個々のお子さんによって多様であるため、全員のニーズに合う内容や量の宿題というのは、なかなか難しいことです。学年の発達の段階もふまえながら、全員一律ではなく選択の余地のある宿題の出し方等について、今後も工夫してまいります。

【教員の対応について】

平等な対応とは思えないことがある、友達とのトラブル発生時の対応が不満

→ 子供同士のトラブル等が起きた際には、双方の話をよく聞いたうえで、関係した子供たちが納得できる解決が図れるよう配慮しています。しかし、実際には納得できないこともあったとのことで、大変申し訳なく思っております。お子さんが不満や不安を抱えている際には、できるだけ時間を空けずにご連絡をいただきますようお願いいたします。

以下のようなご意見もいただき、大変ありがたく、励みになります。

- 運動会では、高学年が中心となって盛り上げようとする姿に感動しました。落ち着いて授業に臨んだり、自分たちで考えて行動しようとしたりできる子が多いように感じています。
- 先生方は一人一人をみて、努力されています。
- 昨年度から下校時の保護者当番がなくなったり、今年度はプールボランティアを採用していただいたりと、その時々の子供たちと保護者に最適になるように臨機応変にスピーディーに対応してくれる学校だととても感謝しています。
- 教員の過酷な労働環境は子供のためにならない。教員を増やして少人数学級を実現し、一人一人と丁寧にかかわることができる体制づくりを進めてほしい。国は子供たちをおおなりにするのではなく、昭和そのままの古い校舎を温もりのある環境へ、担任一人に責任がいく仕組みではなくみんなで子供たちのことを考える場所へ、といったことを考えるべきである。(お二人からいただいた意見について、一部まとめて表記しました。)

今回掲載していないご意見に関しても、全教職員で共有し、今後の教育活動の参考とさせていただきます。お忙しい中でのアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

結果については、後日、ホームページでも公開いたします。

